

## 行政事業レビュー公開プロセス(6月18日)

(事業名)健康的な生活習慣づくり重点化事業

評価結果

事業全体の抜本的な改善

廃止	1	人
事業全体の抜本的な改善	2	人
事業内容の一部改善	3	人
現状通り	0	人

### <とりまとめコメント>

- ・ 成果目標については、事業の結果としての受動喫煙や糖尿病予防等についての認識や行動の変容をもたらす効果の指標化を検討し、目標値を設定すべきである。
- ・ 今後、受動喫煙対策を進める事業所の動きが本格化する中で、各事業所が円滑に取組を進めることができるよう、専門アドバイザーの派遣など、これを支援するための方策について、関連事業とも連携して検討すべきである。

<具体的なコメント>

○事業の課題や問題点

- ・ 事業効果の測定ができていない。ロジックモデルも書けない事業になっている。

○改善の手法や事業見直しの方向性

- ・ 糖尿病予防、たばこ対策、受動喫煙対策について、成果の把握できるアウトカムを再設定し、成果に繋がる事業内容をゼロベースで考えるべき。
- ・ ロジックモデルを見直すべき。
- ・ 適切な成果目標、指標を挙げ、この事業に意味があることを示すべき。これができないか、あるいは十分な成果が上がらないことが明らかになれば、速やかに廃止すべき。
- ・ 受動喫煙対策は、関連する事業と統合再整理し、具体的対策への支援(相談窓口やアドバイザー派遣等)を強化するとともに、アウトカムを把握すべき。
- ・ 受動喫煙の事業では、現場(現地調査先である東京都庁)において、その普及浸透のための気づきが見受けられた。  
現場の声を吸い上げる中で、有効策に予算などのリソースを配分していただきたい。